

3 取り付ける前に

接続しないコードは金属部分を露出したままにせず、絶縁して取り付けてください。
絶縁しないと思わぬ故障の原因となります。

取り付け場所

次のような取り付け場所はお避けください。

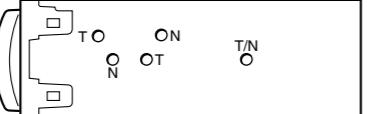
- 運転の妨げになる所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿
- の出し入れの妨げになる所
- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

センターコンソールやインダッシュに取り付ける

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後に本機を取り付けることができます。取り付け可能な車はお買い上げ店にお問い合わせください。
お車が上記以外のときは、取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

- 純正プラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車用)、N(日産車用)マークにプラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。
- 水平から+45度以内で取り付けてください。45度を超えて傾けて取り付けると、CDの音とびなどの原因となります。



4 本体を取り付ける

1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外します。(取り外しかたが分からぬ場合は、この「取り付けと接続」表面に記載されているソニーFAXインフォメーションサービスなどをご利用ください。)

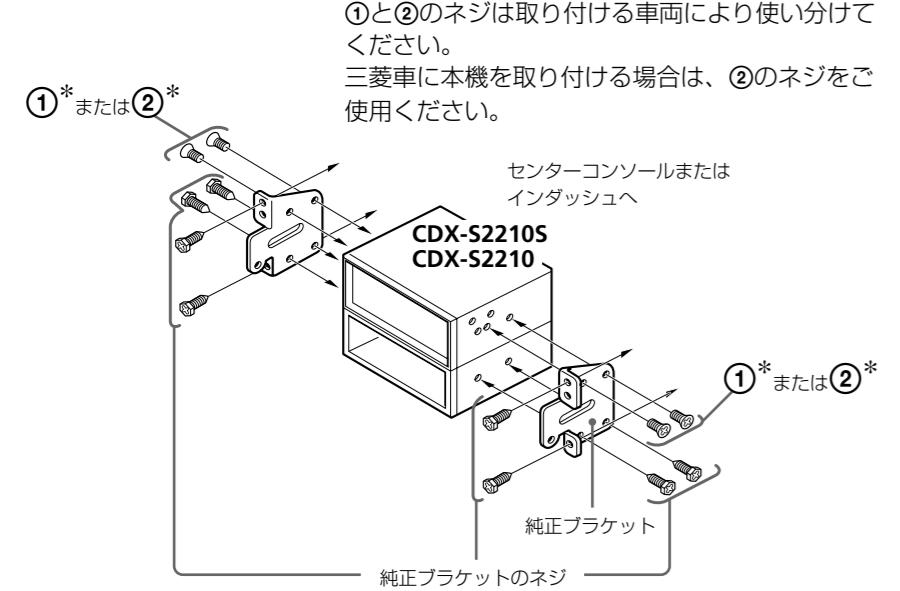
2 本機を取り付ける。

カーオーディオを取り付けていた純正プラケットを利用して、本機を取り付けます。

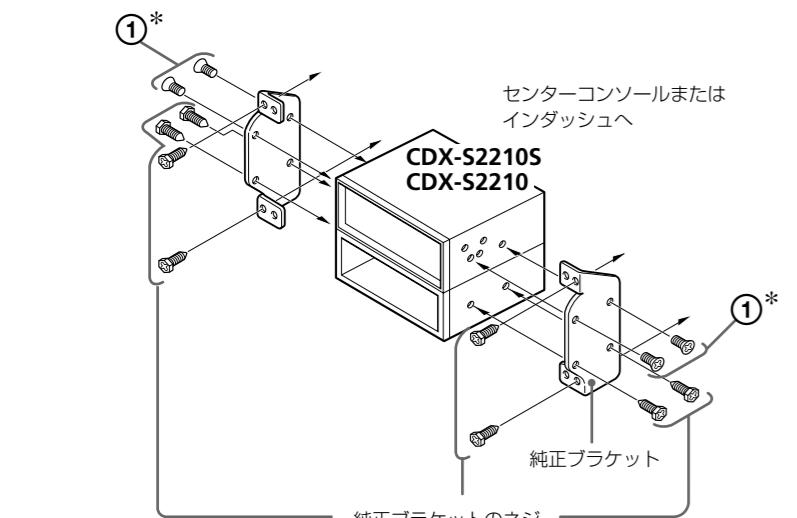
ご注意

- 本機のフロントパネル部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

トヨタ車/三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)



日産車の場合



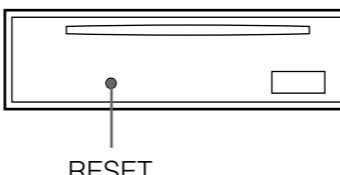
* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。
他のネジを使用すると故障の原因となります。また、車両側の純正プラケットを通さず、本体に直接ネジを締め付けると故障の原因になります。

5 取り付けと接続が終わったら

1 取り付けや接続に誤りがないか、各コードは確実に接続されているかをもう一度確認する。

2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する。

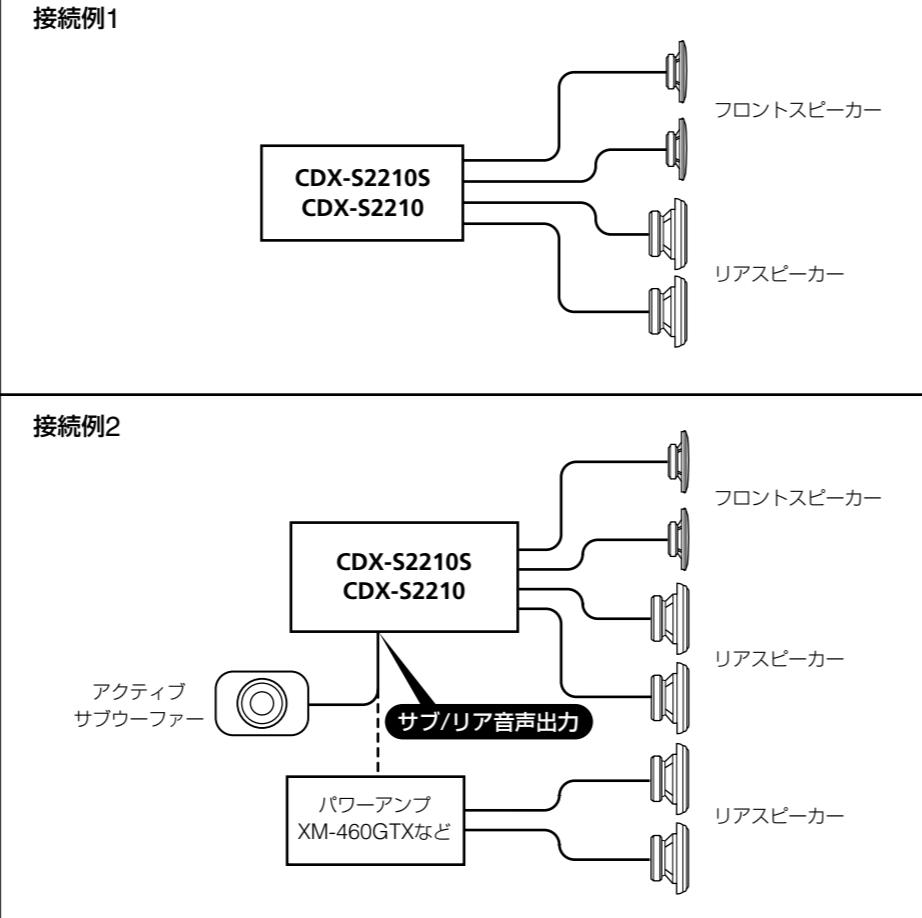
3 RESETボタンをつま楊枝の先などで押す。



4 本機が正しく動作するかを確認する。

すでにディスクが入っている場合は、挿し直してから操作してください。リセット後、そのまま操作すると、エラー表示が出て正しく動作しないことがあります。

システム接続例



接続関係のご注意

スピーカーを接続するときは

次のことをお守りください。スピーカーの故障や破損の原因になります。

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- インピーダンス4~8Ωのスピーカーをお使いください。
- 充分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。
- スピーカーの④、⑤端子を車のシャーシなどに接続しないでください。
- 本機のスピーカーコードどうし(特に④端子どうし、⑤端子どうし)を接続しないでください。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードのθ側が共通になっているものは使わないでください。
- 本機のスピーカーコードにスピーカーを接続しない場合は、安全のため、端子にビニールテープを巻いてください。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。
- トヨタ車や三菱車、日産車にはトレードインスピーカーがあります。くわしくはお買い上げ店にご相談ください。
- 本機のアース用コード(黒色)をスピーカーのθ端子に接続しないでください。

ヒューズについて

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。
- 本機のバッテリー電源用コード(黄色)を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側のヒューズ容量(ラジオまたはオーディオ電源)より小さい値であることを確認してください。判断が難しい場合は、お買い上げ店にご相談ください。

電源配線について

車種によっては、車両側の配線が細い(電流容量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

純正アンテナブースターの接続

車種(リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合)によつては、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続する必要があります。この場合はパワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリー電源用コード(赤色)を接続してください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナを使いになる場合

本機裏面から出ている青色コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ラジオの電源を入れた時にパワーアンテナが自動的に出ます。

ACC(アクセサリー)ポジションの無い車に本機を取り付けた場合の操作上の注意

車を離れる際は、必ず本機のOFFボタンを押し続けて表示が消えたことを確認してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリー上がりの原因となります。

故障かな?

接続関係に誤りがあると、以下の不具合が出ることがあります。
表面の「**2 接続する**」に従って、正しく接続されているかもう一度ご確認ください。

症状

電源が入らない。

- アース用コード(黒色)、アクセサリー電源用コード(赤色)、バッテリー電源用コード(黄色)が正しく接続されていない。
- スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。
→ 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
- スピーカーコードが外れている。
- ヒューズが切れている。
→ お買い上げ店にご相談ください。
- 電源コードが正しく接続されていない。
- イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。
→ SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。
- 車のバッテリーが正しく接続されていない。

スピーカーコードが逆に接続されている。
→ スピーカーコードの接続を確認してください。

ラジオが受信できない。
雑音しか出ない。

- ラジオまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合、パワーアンテナコントロールコード(青色)またはアクセサリー電源用コード(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。
- オートアンテナが上がっていない。
→ パワーアンテナコントロールコード(青色)の接続を確認してください。
- アース用コード(黒色)が正しく接続されていない。
- FM/AMアンテナが正しく接続されていない。

* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。
他のネジを使用すると故障の原因となります。また、車両側の純正プラケットを通さず、本体に直接ネジを締め付けると故障の原因になります。